(Windows 98インストールモデル)



## はじめに

## お読みください

(Windows 95インストールモデルの場合は、先に『ご利用にあたって』をご覧ください。)

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。 梱包箱を開けたら、まず本書の手順通りに操作してください。

#### 操作の流れ

1	添付品の確認
2	設置
3	添付品の接続 本体の型を見て、本書の各型の頁をご覧ください。 ミニタワー型の場合 9 デスクトップ型の場合 17 省スペース型の場合 24
4	Windowsのセットアップ
5	980FFICIAL PASSメンバーへの登録 42 正規ユーザーの登録をします。
6	使用する環境の設定
7	マニュアルの使用方法46 このパソコンに添付されているマニュアルの使い方について説明しています。

本書に記載のイラストや画面はモデルにより多少異なります。

# 1

## 添付品の確認

#### 添付品を確認する

梱包箱を開けたら、まず添付品が揃っているかどうか、このチェックリストを見ながら確認してください。万一、添付品が足りない場合や破損していた場合は、すぐにご購入元にご連絡ください。

下記の他にも注意書きの紙などが入っている場合があります。

- 箱の中身を確認する
  - P.4 6の型番を参照すると、より分かりやすくなります。
  - は一つにパックされています。

#### 保証書

(本体梱包箱に貼り付けられています)

保証書は、ご購入元で所定事項をご記入のうえ、お受け取りになり、保管してください。保証期間中に万一故障した場合は、保証書記載内容にもとづいて修理いたします。保証期間後の修理については、ご購入元または、NECサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。詳しくは、保証書をご覧ください。

はじめにお読みください(このマニュアルです)

本体

添付品収納箱

キーボード

#### マウス



#### 選択アプリケーション

ESMPROクライアントライセンス\*1、一太郎9パック\*2、 Word 98 & Excel 97\*\***または、一太郎**9 & 1-2-3 98

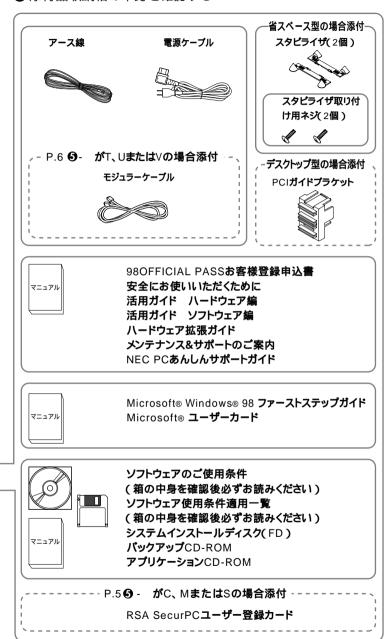


箱の中身は、選択アプリケーションの箱の中にあるマニュアルをご覧ください。

(P.5 6) で選択アプリケーションの種類がわかります)

- \*1 ESMPRO/ClientManager Ver2.0/Ver2.1、DeliveryManager Ver4.0/Ver4.1/Ver5.0(ライセンスFD)
- \*2 一太郎9**パック(一太郎**9、三四郎8/R.2U、花子9、FullBand1.2U with ATOK12)、JUSTSYSTEM電子辞書ライプラリ、研究社 新英和・和英中辞典、岩波国語辞典 () 添付)
- \*3 Microsoft® Excel97 & Word98 & Outlook TM98 for Windows®、Microsoft®/Shogakukan Bookshelf® Basicマルチメディア統合辞典Version2.0( 添付 )

#### ∞ 添付品収納箱の中身を確認する



● ディスプレイがセットになったモデルの場合、ディスプレイの 箱の中身については、ディスプレイの箱の中のマニュアルで確 認する

(P.5 6)· で、ディスプレイのあるなし、種類がわかります)

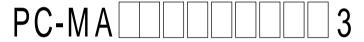
◆本体の外側にある型番、製造番号と保証書の型番、製造番号が 一致していることを確認する

PC-MA XXX...XX

万一違っているときは、すぐにご購入元に連絡してください。また保証書は大切に保管しておいてください。

5 型番を記入する

型番をこの枠に記入しておくと添付品の確認、マウス、キーボード、 ディスプレイ、リンクケーブル/モジュラーケーブルの接続を行うと きに便利です。



の意味は次の通りです。

CPUのクロック周波数を表しています。

型番	クロック周波数
30	300A MHz
33	333 MHz
35	350 MHz
36	366 MHz
40	400 MHz
45	450 MHz

#### CPUの種類を表しています。

型番	CPU
D	Pentium <sup>®</sup> IIプロセッサ
Н	Intel <sup>®</sup> Celeron™プロセッサ

#### 本体の型を表しています。

型番	本体の型
CまたはL	省スペース型
М	ミニタワー型
S	デスクトップ型

#### ディスプレイのあるなし、または種類を表しています。

型番	ディスプレイ
5	15インチCRTディスプレイ (DV15A2)
7	17 <b>インチ</b> CRTディスプレイ (DV17B2)
Е	18 <b>インチ広視野角</b> TFT <b>液晶ディスプレイ (</b> F18S1W )
F	15 <b>インチ液晶ディスプレイ (</b> F15T1)
G	15 <b>インチ広視野角TFT液晶ディスプレイ (</b> F15S1W)
Н	14.1 <b>インチ液晶ディスプレイ (</b> F14T3W)
J	14.1 <b>インチ広視野角</b> TFT <b>液晶ディスプレイ(</b> F14S1W)
L	15 <b>インチ液晶ディスプレイ (</b> F15T2W)
Z	なし

#### 選択アプリケーションのあるなし、または種類を表しています。

型番	選択アプリケーション
N	ESMPROクライアントライセンス
Т	なし
U	一太郎 9パック
V	Word 98 & Excel 97
W	一太郎 9 & 1-2-3 98

## 3.5インチベイに標準内蔵されているファイルとキーボードの種類を表しています。

型番	ファイル	キーボード
Н	フロッピーディスクドライブ	USB <b>小型キーボード</b>
L	スーパーディスクドライブ	USB109 <b>キーボード</b>
М	フロッピーディスクドライブ	USB109 <b>キーボード</b>
S	スーパーディスクドライブ	USB98 <b>配列キーボード</b>
Т	フロッピーディスクドライブ	PS/2 109 <b>キーボード</b>
U	スーパーディスクドライブ	PS/2 109 <b>キーボード</b>
V	フロッピーディスクドライブ	USB98 <b>配列キーボード</b>
W	スーパーディスクドライブ	USB <b>小型キーボード</b>

#### メモリの容量とネットワークボードの種類を表しています。

型番	メモリ容量	ネットワークボード
Α	32MB	LAN <b>ボード</b>
В	64MB	LAN <b>ボード</b>
С	96MB	LAN <b>ボード</b>
D	128MB	LAN <b>ボード</b>
Т	32MB	FAX <b>モデムボード</b>
U	64MB	FAX <b>モデムボード</b>
V	96MB	FAX <b>モデムボード</b>

#### ハードディスクの容量を表しています。

型番	容量
3	3.2GB
4	4.3GB
6	6.4GB
8	8.4GB
D	16.8GB

上記  $\sim$  のすべての組合わせが実現できているわけではありませh。

# 2 設置

#### 設置場所を決める

### ⚠ 安全に関するご注意

添付の『安全にお使いいただくために』をよくお読みの上、 注意事項を守って正しくお使いください。





電源はAC100V(50/60Hz)を使用してください。



電源ケーブルの上に、ものを載せないでください。

電源ケーブルを抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜いてく ださい。

電源ケーブルの付け根部分を無理に曲げないでください。



ケーブル類は、つまずかないように整理してください。

### ] 設置に適した場所

設置に適した場所は次のような場所です。

屋内

温度10 ~35

湿度20%~80%

(ただし結露しないこと)

平らで十分な強度があり、落下のおそれがない

(机の上など)

#### ★ 設置に適さない場所

次のような場所には設置しないでください。本機の故障や破損の原因と なります。

磁気を発生するもの 扇風機、スピーカなど)や磁気を帯びているもの の近く

直射日光があたる場所

暖房機の近く

薬品や液体の近く

テレビ、ラジオ、コードレス電話、他のディスプレイなどの近く

人通りが多くてぶつかる可能性がある場所

ドアの開け閉めで、ドアが当たる場所

ホコリが多い場所

本体背面または側面にある通風孔がふさがる場所

ディスプレイの通風孔がふさがる場所

テレビ、ラジオなどと同じACコンセントを使う場所

#### 設置場所が決まったら......

設置場所が決まったら、本機を設置します。本機は精密機器ですから、慎 重に取り扱ってください。乱暴な取り扱いをすると、故障や破損の原因と なります。

パソコンの接続部は、背面にまとまっています。

いきなり壁際にパソコン本体を置いてしまうと、うまく接続できません。 机などの裏側に回って接続できるような場所を選んでください。

できるだけ通風孔をふさがないように15cm以上のスペースを確保して ください。キーボードやマウスが余裕を持って操作できる場所も必要で す。

8

# 3

## 添付品の接続

デスクトップ型の場合はP.17をご覧ください。 省スペース型の場合はP.24をご覧ください。

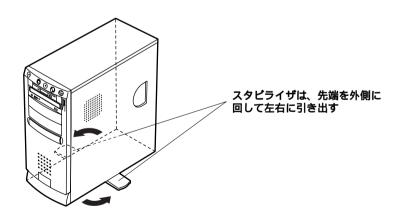
#### ミニタワー型の場合

#### スタビライザをセットします

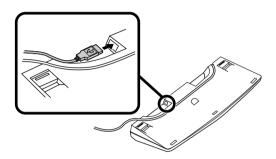
本体には、本体を安定して設置するためのスタビライザという脚があります。スタビライザは梱包箱から出したままの状態では、本体底面にたたみ込まれています。転倒防止のため、このスタビライザを出して設置してください。



本体はスタピライザを使用して、縦置きで使用してください。 横置きで使用すると、故障の原因となります。



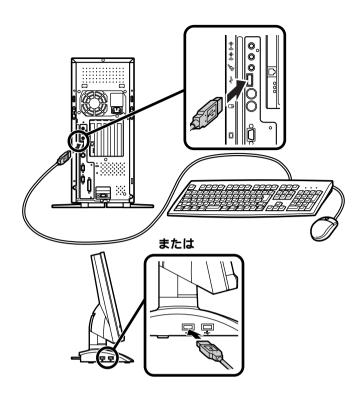
- 1. マウス、キーボードを接続します
  - ◆または②のどちらかで接続してください。
  - ◆USB小型キーボード、USB109キーボードまたはUSB98配列キーボード(P.5 ⑤ がH、MまたはV)の場合添付のマウスをキーボードに接続する



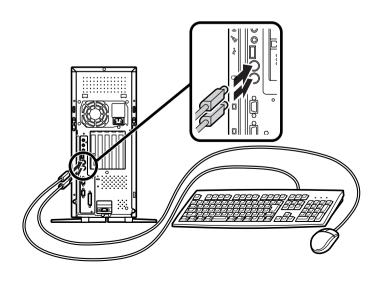
キーボードを本体のUSBコネクタに接続する

液晶ディスプレイがセットになったモデルの場合は、液晶ディスプレイのUSBコネクタに接続する

液晶ディスプレイの左側にある二つのUSBコネクタのうち、どちらを使用してもかまいません。



② PS/2 109キーボード(P.5 ⑤・ がT)の場合 添付のマウス(グリーン)キーボード(オレンジ)を同色のコネクタ に接続する

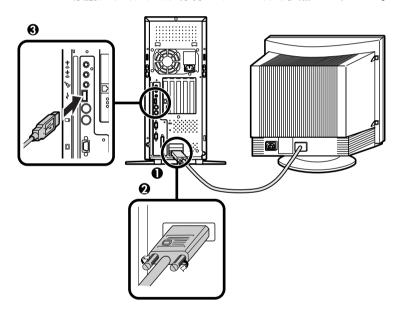


#### 2. ディスプレイを接続します

ディスプレイによって接続方法が異なる場合があります。ディスプレイに添付のマニュアルを参照して接続してください。

- ~ ⑤ の順番に接続してください。
  - ●ディスプレイの背面につながっているビデオ信号ケーブルのコネクタを、本体のアナログRGBコネクタアイコン(○)を確認して接続する
  - ②ビデオ信号ケーブルのコネクタに付いているネジをしめて、しっかりネジ止めする
  - ❸液晶ディスプレイの場合は、さらに本体と液晶ディスプレイを USBケーブルで接続する

液晶ディスプレイに添付のマニュアルを参照してください。



3. リンクケーブル( 別売 )またはモジュラーケーブルを接続します 必要に応じて次の接続を行ってください。

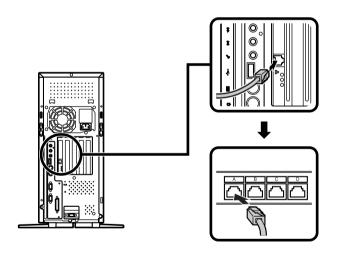
LAN(ローカルエリアネットワーク)に接続するときは、リンクケーブル(別売)を使い、**①** の手順で接続する

FAXモデムを利用して電話回線に接続するときは、モジュラーケーブルを使い、② の手順で接続する

(電話回線に接続する場合は、『活用ガイド ハードウェア編』「FAXモデムボード」をご覧になり、接続前の確認を行ってください。ここでは、モジュラーコンセントに接続する場合を例に説明します。)

#### ●リンクケーブル(別売)を接続する場合

マルチポートリピータ(ハブ)に、リンクケーブルのもう一方のコネクタを接続する



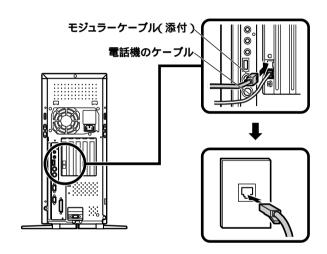
稼働中のローカルエリアネットワークに接続する場合は、ネットワーク管 理者の指示に従ってリンクケーブルの接続を行ってください。

#### **②**モジュラーケーブルを接続する場合

電話機につながっているケーブルのコネクタを本体のアイコン 表示( つ )に従って接続し、モジュラーケーブルの一方のコネク タを、本体のアイコン表示( 、 )に従って接続する

モジュラーコンセントに、モジュラーケーブルのもう一方のコネクタを接続する

パソコンを電話回線に接続しても、2線式の電話機はこれまで通り使うことができます。



4. アース線、電源ケーブルを接続します

## ⚠ 安全に関するご注意

アース端子付きのコンセントがない場合、ご購入元や、お近くの電気店などにご相談ください。



アース線は、絶対にガス管につながないでください。ガス爆発、 火災の原因となります。



アース線の接続や取り外しをするときは、必ず電源ケーブルの プラグをコンセントから抜いてください。

アース線は、水道管につながないでください。アースできない場合があります。

アース線は、電話専用のアース端子に接続しないでください。電話に雑音が入る場合があります。

アース線は、感電を防止するための電線です。本体のアース端子と、コンセントのアース端子をつなぐことで、万一漏電した場合の感電を防止する役目を果たします。安全のために必ず接続してください。

次の頁の図を見て●~❸の順番に接続してください。

●アース線を接続する

本体のアース端子にアース線をネジ止めする コンセントのアース端子にアース線を接続する

❷ディスプレイの電源ケーブルを接続する

次の頁の図はCRTディスプレイの場合です。液晶ディスプレイの電源ケーブルの接続については、液晶ディスプレイのマニュアルをご覧ください。

ディスプレイにディスプレイ用電源ケーブルを接続する

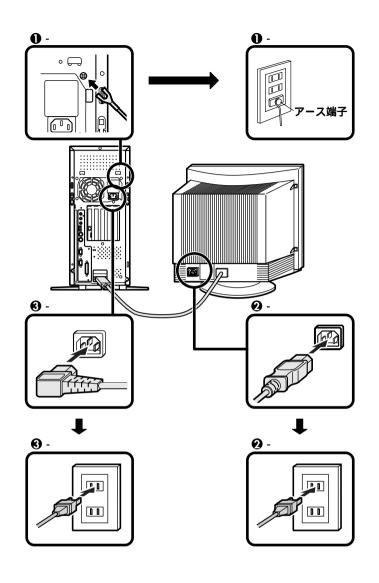
電源ケーブルのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差 し込む

❸本体の電源ケーブルを接続する

本体に電源ケーブルを接続する

電源ケーブルのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む

一度電源が入り、1~2秒で電源が切れます。(故障ではありません。)



以上で添付品の接続は完了です。

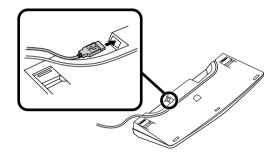
P.33「4 Windowsのセットアップ」へ進んでください。

ミニタワー型の場合はP.9をご覧ください。 省スペース型の場合はP.24をご覧ください。

## デスクトップ型の場合

#### 添付品を接続します

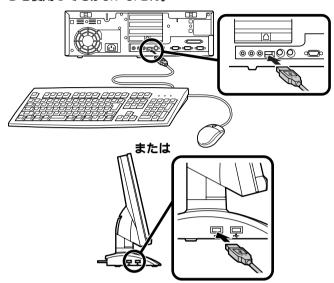
- 1. マウス、キーボードを接続します
  - ●または2ののどちらかで接続してください。
  - ●USB小型キーボード、USB109キーボードまたはUSB98配列キーボード(P.5 ⑤ がH、MまたはV)の場合添付のマウスをキーボードに接続する



キーボードを本体のUSBコネクタに接続する

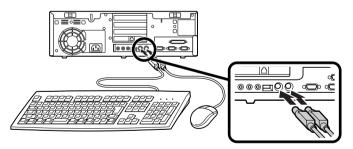
液晶ディスプレイがセットになったモデルの場合は、液晶ディスプレイのUSBコネクタに接続する

液晶ディスプレイの左側にある二つのUSBコネクタのうち、どちらを使用してもかまいません。



**の**PS/2 109キーボード(P.5 **6**)- がT)の場合

添付のマウス(グリーン)キーボード(オレンジ)を同色のコネクタ にそれぞれ接続する



#### 2. ディスプレイを接続します

ディスプレイによって接続方法が異なる場合があります。ディスプレイに添付のマニュアルを参照して接続してください。

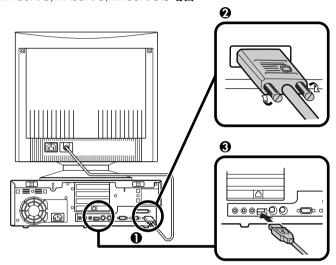
● ~ ❸ の順番に接続してください。

本体のアナログRGBコネクタの位置は、機種によって異なります。 右図で機種とアナログRGBコネクタの位置を確認してから接続し てください。

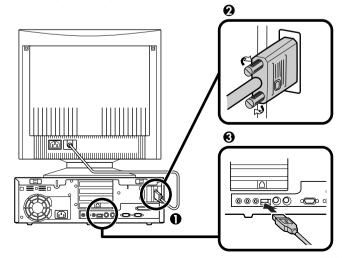
- ●ディスプレイの背面につながっているビデオ信号ケーブルのコネクタを、本体のアナログRGBコネクタにアイコン(○)を確認して接続する
- ②ビデオ信号ケーブルのコネクタに付いているネジをしめて、しっかりネジ止めする
- ❸液晶ディスプレイの場合は、さらに本体と液晶ディスプレイを USBケーブルで接続する

液晶ディスプレイに添付のマニュアルを参照して接続してく ださい。

•MA30H/S,MA33H/S,MA36H/Sの場合



•MA35D/S,MA40D/S,MA45D/Sの場合



3. リンクケーブル( 別売 )またはモジュラーケーブルを接続します 必要に応じて次の接続を行ってください。

LAN(ローカルエリアネットワーク)に接続するときは、リンクケーブル(別売)を使い、**①** の手順で接続する

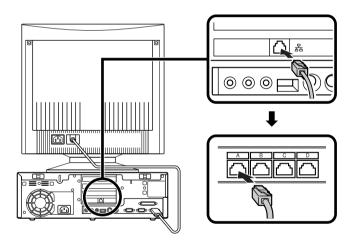
FAXモデムを利用して電話回線に接続するときは、モジュラーケーブルを使い、② の手順で接続する

(電話回線に接続する場合は、『活用ガイド ハードウェア編』「FAXモデムボード」をご覧になり、接続前の確認を行ってください。ここでは、モジュラーコンセントに接続する場合を例に説明します。)

●リンクケーブル(別売)を接続する場合

リンクケーブルのコネクタを本体のアイコン表示( 岩 )に従って接続する

マルチポートリピータ(ハブ)に、リンクケーブルのもう一方のコネクタを接続する



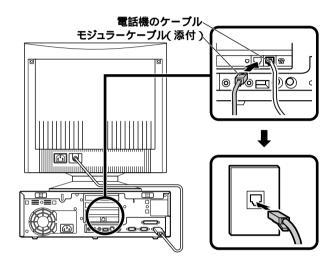
稼働中のローカルエリアネットワークに接続する場合は、ネットワーク管 理者の指示に従ってリンクケーブルの接続を行ってください。

#### **Ω** モジュラーケーブルを接続する場合

電話機につながっているケーブルのコネクタを本体のアイコン 表示( つ )に従って接続し、モジュラーケーブルの一方のコネク タを、本体のアイコン表示( 、 )に従って接続する

モジュラーコンセントに、モジュラーケーブルのもう一方のコネクタを接続する

パソコンを電話回線に接続しても、2線式の電話機はこれまで通り使うことができます。



4. アース線、電源ケーブルを接続します

## 介安全に関するご注意

アース端子付きのコンセントがない場合、ご購入元や、お近くの電気店などにご相談ください。



アース線は、絶対にガス管につながないでください。ガス爆発、 火災の原因となります。



アース線の接続や取り外しをするときは、必ず電源ケーブルの プラグをコンセントから抜いてください。

アース線は、水道管につながないでください。アースできない場合があります。

アース線は、電話専用のアース端子に接続しないでください。電話に雑音が入る場合があります。

アース線は、感電を防止するための電線です。本体のアース端子と、コンセントのアース端子をつなぐことで、万一漏電した場合の感電を防止する 役目を果たします。安全のために必ず接続してください。

次の頁の図を見て●~❸の順番に接続してください。

●アース線を接続する

本体のアース端子にアース線をネジ止めする コンセントのアース端子にアース線を接続する

**のディスプレイの電源ケーブルを接続する** 

図はCRTディスプレイの場合です。液晶ディスプレイの電源ケーブルの接続については、液晶ディスプレイのマニュアルをご覧ください。

ディスプレイにディスプレイ用電源ケーブルを接続する

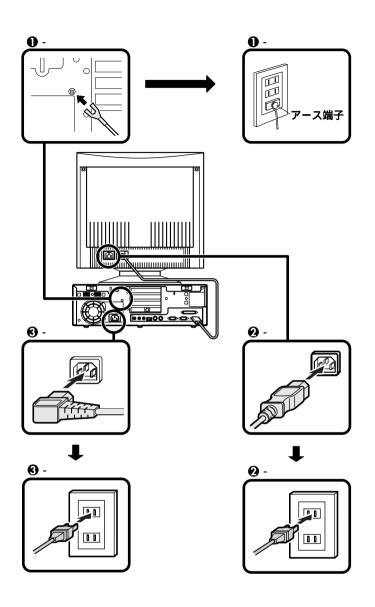
電源ケーブルのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差 し込む

○本体の電源ケーブルを接続する

本体に電源ケーブルを接続する

電源ケーブルのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む

一度電源が入り、1~2秒で電源が切れます。(故障ではありません。)



以上で添付品の接続は完了です。

P.33「4 Windowsのセットアップ」へ進んでください。

ミニタワー型の場合はP.9をご覧ください。 デスクトップ型の場合はP.17をご覧ください。

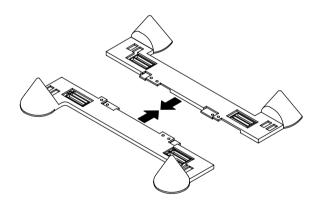
#### 省スペース型の場合

#### スタビライザをセットします

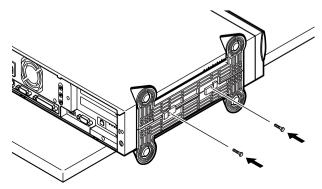
このパソコンには、本体を縦置きで使用する場合に、安定して設置するためのスタピライザと言う脚が添付されています。梱包箱から出したままの状態では、スタピライザは本体に取り付けられていません。縦置きで使用する場合は、転倒防止のため、必ず図のようにスタピライザをスタピライザ取り付け用ネジで取り付けて設置してください。

また、本体を横置きで使用することもできます。この場合、スタビライザをセットする必要はありません。横置きで使用する場合は、本体の上に約17kgまでのディスプレイなどを置くことができます。

- 机の端などに本体を横置きに安定させる
- 2 二つのスタビライザを図のようにかみ合わせる



動本体底面の突起にスタビライザを合わせて、スタビライザ取り付け用 ネジ2個を使い取り付ける



下図のように、片側を壁などに付けて縦置きで使用する場合は、一つのスタピライザを本体の、壁などと反対側の側面のみにセットすることができます。

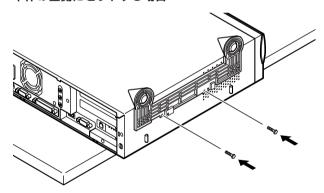




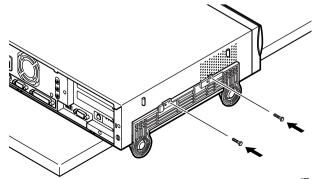


一つのスタビライザのみをセットする場合は、転倒防止のため、必ず反対側の側面を壁などにつけて使用してください。

- 机の端などに本体を横置きにし、本体を安定させる
- **②** 一つのスタビライザを、スタビライザ取り付け用ネジ2個を使い取り付ける
  - ・ 本体の左側にセットする場合

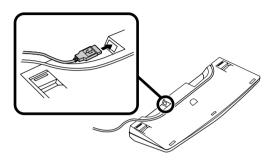


・ 本体の右側にセットする場合



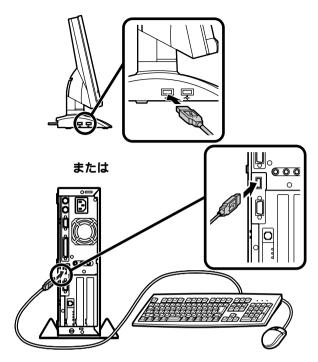
- 1. マウス、キーボードを接続します
  - ●または2のどちらかで接続してください。
    - ●USB小型キーボード、USB109キーボードまたはUSB98配列キーボード(P.5 ⑤・がH、L、M、S、VまたはW)の場合

添付のマウスをキーボードに接続する

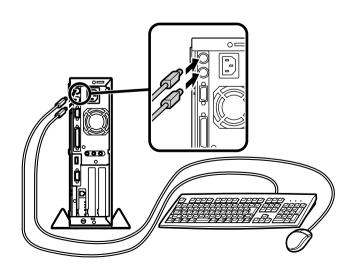


キーボードを液晶ディスプレイまたはパソコン本体のUSBコネクタに接続する

液晶ディスプレイに接続する場合は、液晶ディスプレイの左側にある二つのUSBコネクタのうち、どちらを使用してもかまいません。



②PS/2 109キーボード(P.5 ⑤- がTまたはU)の場合 添付のマウス(グリーン)キーボード(オレンジ)を同色のコネクタにそれぞれ接続する

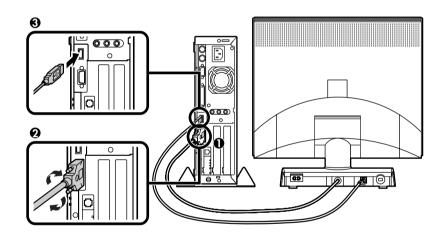


#### 2. ディスプレイを接続します

ディスプレイによって接続方法が異なる場合があります。ディスプレイに添付のマニュアルを参照して接続してください。

- ~ ❸ の順番に接続してください。
  - ●ディスプレイの背面につながっているビデオ信号ケーブルのコネクタを、本体のアナログRGBコネクタアイコン(○)を確認して接続する
  - ②ビデオ信号ケーブルのコネクタに付いているネジをしめて、しっかりネジ止めする
  - ❸液晶ディスプレイの場合は、さらに、本体と液晶ディスプレイを USBケーブルで接続する

液晶ディスプレイに添付のマニュアルを参照してください。



3 リンクケーブル(別売)またはモジュラーケーブルを接続します 必要に応じて次の接続を行ってください。

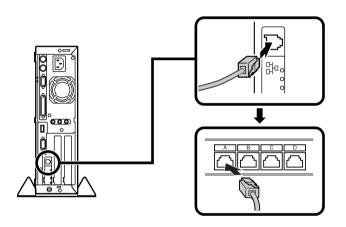
LAN(ローカルエリアネットワーク)に接続するときは、リンクケーブル(別売)を使い、**①** の手順で接続する

FAXモデムを利用して電話回線に接続するときは、モジュラーケーブルを使い、②の手順で接続する

(電話回線に接続する場合は、『活用ガイド ハードウェア編』「FAXモデムボード」をご覧になり、接続前の確認を行ってください。ここでは、モジュラーコンセントに接続する場合を例に説明します。)

●リンクケーブル(別売)を接続する場合

マルチポートリピータ(ハブ)に、リンクケーブルのもう一方のコネクタを接続する



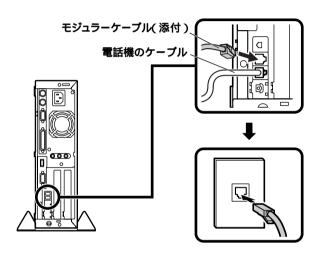
稼働中のローカルエリアネットワークに接続する場合は、ネットワーク管 理者の指示に従ってリンクケーブルの接続を行ってください。

#### **②**モジュラーケーブルを接続する場合

電話機につながっているケーブルのコネクタと本体のアイコン 表示( つ )に従って接続し、モジュラーケーブルの一方のコネク タを本体のアイコン表示( 、 )に従って接続する

モジュラーコンセントに、モジュラーケーブルのもう一方のコネクタを接続する

パソコンを電話回線に接続しても、2線式の電話機はこれまで通り使うことができます。



4. アース線、電源ケーブルを接続します

## ⚠ 安全に関するご注意

アース端子付きのコンセントがない場合、ご購入元や、お近くの電気店などにご相談ください。



アース線は、絶対にガス管につながないでください。ガス爆発、 火災の原因となります。



アース線の接続や取り外しをするときは、必ず電源ケーブルの プラグをコンセントから抜いてください。

アース線は、水道管につながないでください。アースできない場合があります。

アース線は、電話専用のアース端子に接続しないでください。電話に雑音が入る場合があります。

アース線は、感電を防止するための電線です。本体のアース端子と、コンセントのアース端子をつなぐことで、万一漏電した場合の感電を防止する役目を果たします。安全のために必ず接続してください。

次の頁の図を見て●~❸の順番に接続してください。

●アース線を接続する

本体のアース端子にアース線をネジ止めする コンセントのアース端子にアース線を接続する

**のディスプレイの**電源ケーブルを接続する

次の頁の図は液晶ディスプレイの場合です。CRTディスプレイの電源ケーブルの接続については、CRTディスプレイのマニュアルをご覧ください。

ディスプレイにディスプレイ用電源ケーブルを接続する

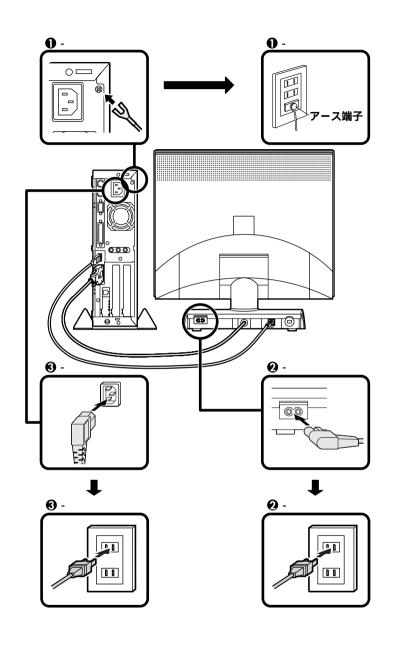
電源ケーブルのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差 し込む

**③**本体の電源ケーブルを接続する

本体に電源ケーブルを接続する

電源ケーブルのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む

一度電源が入り、1~2秒で電源が切れます。(故障ではありません。)



以上で添付品の接続は完了です。

P.33「4 Windowsのセットアップ」へ進んでください。



## Windows**のセットアップ**

はじめてパソコンの電源を入れるときは、自分の名前などを入力する Windows 98セットアップの作業が必要です。この作業には全部で30分程度の時間がかかります。

#### セットアップをするときの注意

プリンタやメモリなど、周辺機器は接続しない

この作業が終わるまでは、プリンタや増設メモリなどの取り付けを絶対に行わないでください。これらの周辺機器をパソコンと一緒に購入した場合は、先にWindows 98のセットアップ作業を完了させてから、周辺機器に添付のマニュアルを読んで接続や取り付けを行ってください。

途中で電源を切らない、スリープボタンを押さない

作業の途中では絶対に電源を切ったりスリープボタンを押さない(スタンパイ状態にしない)でください。作業の途中で、電源スイッチを操作したり電源コードを引き抜いたりすると、故障の原因になります。途中で画面が止まるように見えることがあっても、故障ではありません。 慌てずに手順通り操作してください。

#### セットアップを始める前の準備

次のものを準備しておいてください。

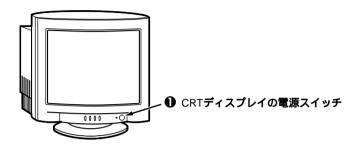
- ・『Microsoft』 Windows』 98ファーストステップガイド』 セットアップの途中で、表紙に記載されているWindows 98の製造番号(プロダクトキー)が必要になります。
- ・使用する人の名前 このパソコンを使う人の名前を入力する必要があ ります。登録する名前を決めておいてください。



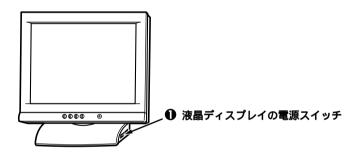
Windows 98の 製造番号 (プロダクトキー)

#### 電源を入れる

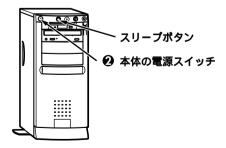
- ●、② の順番に電源を入れてください。
- ディスプレイの電源を入れる
  - ・ CRTディスプレイの場合



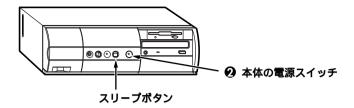
・液晶ディスプレイの場合



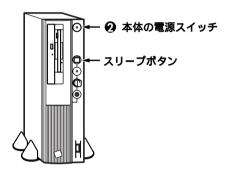
- 2 本体の電源を入れる
  - ・ミニタワー型の場合



#### デスクトップ型の場合

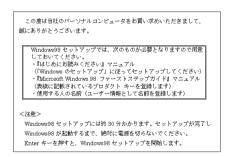


#### ・省スペース型の場合



#### セットアップの作業手順

電源を入れるとしばらくして次の画面が表示されます。



本紙に記載の画面は、モデルによって異なる場合があります。また、実際の画面とは多少異なることがあります。

これ以降は、セットアップの作業が完了するまで、スリープボタンと電源 スイッチに絶対に手を触れないでください。セットアップが完了する前に スタンパイ状態にしたり電源を切ると、故障の原因になります。

障害が発生した場合や、誤って電源スイッチを押してしまった場合は、『活用ガイド ソフトウェア編』PART 4 トラブル解決Q&A」をご覧ください。強制終了の方法やスキャンディスクの操作方法が記載されています。

● キーボードの【Enter 】を押すと、ハードディスクのチェックが 始まるので、チェックが終了したら【Enter 】を押す

キーボードの使い方 『活用ガイド ハードウェア編』

② 次のような画面が表示されたら、キーボードを使って名前と会 社名を入力する

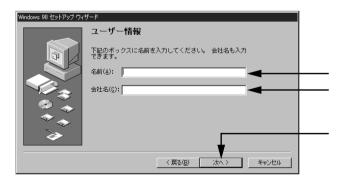
#### 名前を入力

名前を入力しないと、次の操作に進むことはできません。

会社名を入力する場合は会社名の欄にマウスポインタを合わせ てクリック

名前と同じように会社名を入力することができます。

「次へ」ボタンをクリック



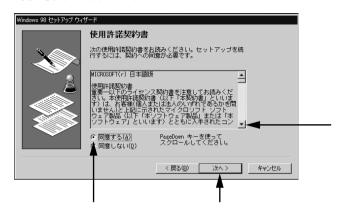
❸ 「使用許諾契約書」の画面を確認する

内容をよくお読みの上、次に進んでください。

▼をクリックして続きを見る

使用契約を読んで「同意する」をクリック (同意しない場合、セットアップは続行できません)

「次へ」ボタンをクリック



**④** キーボードを使ってプロダクト キーを入力する

プロダクト キーを入力

プロダクト キーは、添付の『Microsoft® Windows® 98ファーストステップガイド』の表紙に記載されています。

& ハチ)とB(ビー)などの間違えやすい文字にご注意ください。

「ヘルプ」ボタンをクリックし、表示された画面で、キーボードヘルパを使用する」にチェックをつけ「OK」ボタンをクリックすると、キーボードを使用せずに、プロダクトキーを入力することができます。

#### 「次へ」ボタンをクリック

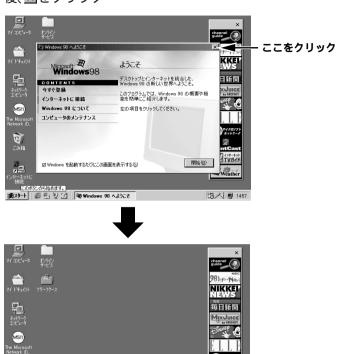


6 画面の指示に従ってセットアップを進める



何度か画面が変わり、次の画面が表示されるまでしばらくかかります。途中で再起動を促す画面が表示された場合は、「はい」ボタンをクリックしてください。

⑥ しばらくして次の画面が表示されたら、各項目の説明を読んだ後、メをクリック



これでWindows 98のセットアップの作業は完了です。

j\_A般 岁 ▶ 图 13 2000

B

このボタンから始めます。

**●**「スタート」ボタンをクリック



**②**「Windowsの終了」をクリック



### ❸ 本体の電源を切る

「電源を切れる状態にする」をクリック

「OK」ボタンをクリック



### メッセージが表示され、自動的に電源が切れます。

液晶ディスプレイがセットになったモデルの場合は、パソコン本体、あるいは画面の解像度によって、画面の調整が必要な場合があります。

ディスプレイに添付のマニュアルの「画面の調整」項目に従って画面状態を確認し、表示位置のずれや画面のちらつきがある場合は画面調整を行ってください。

5

## 980FFICIAL PASSメンバーへの登録

980FFICIAL PASS メンバー(正規ユーザー)への登録を必ず行ってください。登録方法について詳しくは、添付の『980FFICIAL PASSお客様登録申込書』をご覧ください。

なお、パソコンをインターネットに接続している場合には、インターネットで登録を行うこともできます。

「980FFICIAL PASS **お客様登録カウンター**」

http://www.pc98.nec.co.jp/register/

なお、下記のホームページからリンクがはられています。

「98Information」

http://www.nec.co.jp/98/

# 使用する環境の設定

このパソコンを使用する環境や運用・管理する上で便利な機能を設定します。機能の詳細や設定方法については、『活用ガイド ハードウェア編』 および『活用ガイド ソフトウェア編』をご覧ください。

#### ●電源の状態の設定

本機は、電力を節約するスタンバイ機能を利用することができます。 この設定を変更したい場合や、設定内容の詳細については、『活用ガイ ドハードウェア編』の「PART1 本体の構成各部」の「電源」をご覧くだ さい。

#### 2 セキュリティの設定

設定内容の詳細などについては、『活用ガイド ハードウェア編』の「PART1 本体の構成各部」の「Mate NXマネジメント機能」の「セキュリティ機能」をご覧ください。

- BIOS LOCK
  - ・パスワードを設定する

スーパパイザパスワード/ユーザパスワードを設定することで、 本機の使用者を制限するとともに、本機の不正使用を防止する ことができます。

スマートカードを利用する

別売のスマートカードリーダ/ライタ(PK-SM001)とスマートカード(PK-SM003)を利用することで、個人認証をすることができます。

I/Oロック

FDD、CD-ROMなどを利用できないようにします。コンピュータウイルスの侵入を防いだり、パソコンのデータを無断コピーされたり、パソコンに悪影響を与える恐れのあるアプリケーションなどのインストールを未然に防止することができます。

・ セキュリティロック

内蔵部品(メモリやハードディスク)の盗難やスーパバイザパスワード、ユーザパスワードの解除を防止するため、鍵をかけることができます。

### ❸ データのバックアップの設定

· Masty Data Backup

本機に内蔵されているハードディスクドライブは非常に精密に作られています。少しの振動や衝撃も故障の原因となることがあります。 ハードディスクドライブが故障すると、データが一瞬にして使えなくなってしまい、復帰できない可能性があります。二度と同じものを作れないような大切なデータは、保護するためこまめにバックアップを取るようおすすめします。

本機にはハードディスクをバックアップする機能 Masty Data Backup が添付されています。「アプリケーションCD-ROM」より追加してからお使いください。

詳しくは『活用ガイド ハードウェア編』ハードディスクドライブ』『活用ガイド ソフトウェア編』PART1 アプリケーションの概要と削除/追加』の「Masty Data Backup」をご覧ください。 MA30H/Lには、Masty Data Backupは添付されていません。

- BIOSセットアップユーティリティ
   「システムバックアップ警告」を「毎月」にすると、本機起動時にバックアップを行うように警告を出すことができます。
- **④** ハードディスクドライブの領域確保

本機のハードディスクドライブは、工場出荷時には一つの領域だけが確保されています。『活用ガイド ハードウェア編』の「PART1 本体の構成各部」の「ハードディスクドライブ」をご覧になり、残りの領域を使用環境にあわせて確保してください。

- **5** 利用する添付アプリケーションの設定
  - CyberTrio-NX
  - · CyberWarner-NX
  - ・ VirusScan など

本機にはシステム管理者向けと一般ユーザー向けの利用環境を設定する機能 CyberTrio-NX ) Windows 98の動作に影響を与えるファイルを監視する機能 CyberWarner-NX ) ウイルスを検査・駆除する機能 (VirusScan )などが添付されています。添付アプリケーションは、「アプリケーションCD-ROM」より追加してからお使いください。

詳しくは『活用ガイド ソフトウェア編』をご覧ください。

- - ・メンテナンスウィザード
  - DMITOOL
  - pcANYWHERE32 EX
  - RSA SecurPC

本機には、スキャンディスクなどを定期的に実行させるための機能 (メンテナンスウィザード)、本機や本機に接続されているパソコンの 情報を管理する機能(DMITOOL)、遠隔地からパソコンを操作する機 能(pcANYWHERE32 EX)、ファイルやフォルダの暗号化/復号化を設 定する機能(RSA SecurPC)が添付されています。メンテナンスウィ ザード以外の添付アプリケーションは、「アプリケーションCD-ROM」 より追加してからお使いください。

なお、P.43 ● 電源の状態の設定」により利用できない機能があります。詳しくは『活用ガイド ソフトウェア編』をご覧ください。

MA30H/L**には**、DMITOOL、pcANYWHERE32 EX、RSA SecurPC**は添付されていません。** 



# マニュアルの使用方法

このパソコンに添付されているマニュアルを紹介します。目的に合わせてお読みください。

マニュアル類はなくさないようご注意ください。なくした場合は『活用ガイド ソフトウェア編』の「PART4 トラブル解決Q&A」の「その他」をご覧ください。

### 各マニュアルの主な内容

『安全にお使いいただくために』 このパソコンを安全にお使いいただくための情報が 記載されています。



『Microsoft』 Windows』 98ファーストステップガイド』 Windows 98の全般的な基礎知識や基本的な操作方法 が記載されています。



『活用ガイド ハードウェア編』 本体の各部の名称と機能、システム設定(BIOS設定) について記載されています。



『活用ガイド ソフトウェア編』 アプリケーションの削除 / 追加、再セットアップ、トラブル解決方法について記載されています。



『ハードウェア拡張ガイド』 本機の機能を拡張する機器の取り付け方、内部構造の 説明について記載されています。



ディスプレイのユーザーズマニュアル

液晶ディスプレイまたはCRTディスプレイがセットになったモデルの場合は、利用方法が記載されたマニュアルが、ディスプレイに添付されています。(P.2「1 添付品の確認」をご覧ください)。

#### 選択アプリケーションのユーザーズマニュアル

モデルによって、一太郎9パック、Word 98 & Excel 97、一太郎 9 & 1-2-3 98などのマニュアルが添付されています( P.2 「1 添付品の確認」をご覧ください)。

『メンテナンス&サポートのご案内』 ビジネスでお使いになるお客様向けのメンテナンス とサポート情報について記載されています。



『NEC PCあんしんサポートガイド』 パソコンに関するNECの相談窓口や受講施設、故障時のサービス網について記載されています。



Microsoft関連製品の情報について —

次のWebサイト(Microsoft Press)では、一般ユーザー、ソフトウェア開発者、技術者、およびネットワーク管理者用に、Microsoft関連製品を活用するための書籍やトレーニングキットなどが紹介されています。

http://www.microsoft.com/japan/info/press/

#### ご注意

- (1)本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- (2)本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3)本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、ご購入元、最寄りのBit-INN、またはNECパソコンインフォメーションセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本はお取り替えいたします。
- (4)当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任 も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- (5)本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6)海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
- (7)本機の内蔵ハードディスクにインストールされているWindows 98および本機に添付のCD-ROM、フロッピーディスクは、本機のみでご使用ください。
- (8)ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。

Microsoft、Windows、Outlookは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

一太郎、ATOK、花子、FullBandは、株式会社ジャストシステムの登録商標です。

商標「三四郎」は株式会社エス・エス・ピーの登録商標であり、株式会社ジャストシステムは商標使用許諾を受けています。

「一太郎9パック」「一太郎9」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、「一太郎9パック」「一太郎9」にかかる著作権、その他の権利はすべて株式会社ジャストシステムに帰属します。

VirusScanは米国Network Associates社およびその関連会社の商標または登録商標です。

AutoCrypt、Emergency Access、RC4ならびにGenuine RSA Encryption and Design、Interlocking Key Design のロゴマークは、米国Security Dynamics社の子会社である米国RSA Data Security社の商標または登録商標です。RSA SecurPCおよびSecurity Dynamicsは米国Security Dynamics社の商標または登録商標です。

Lotus Lotus Development Corporationの登録商標です。1-2-3は、Lotus Development Corporationの商標です。

pcANYWHERE32は、Symantec Corporationの米国における登録商標です。

PS/2は、IBMが所有している商標です。

Intel、PentiumはIntel Corporationの登録商標です。

CeleronはIntel Corporationの商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標、または登録商標です。

三版 1999年1月

©NEC Corporation 1998,1999

日本電気株式会社の許可なく複製、改変などを行うことはできません。

808-877675-082-A3



このマニュアルはエコマーク認定の再生紙を使用しています。